

バイオガス発電を活用した 環境にやさしいシステム

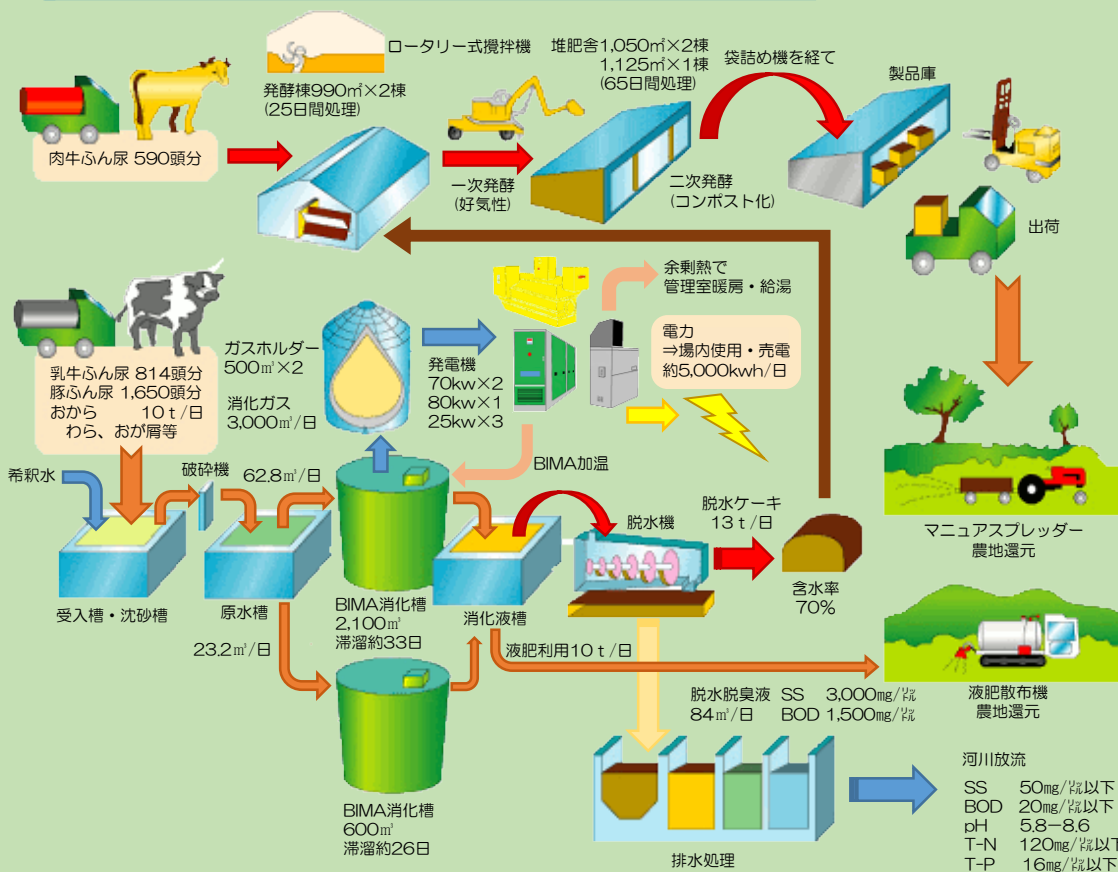
京都府南丹市では、地球環境問題の悪化を阻止し、かけがえのない地球や清らかな大気と水・豊かな大地を保全し、地域産業の活性化を図るためバイオガス発電施設を設置しました。

ここでは、家畜ふん尿と食品廃棄物をメタン発酵させて発生する「バイオガス」を用いて発電しています。施設内で消費される電力をすべて賄っているほか、余った電気は売電しています。さらに、発電する際に生じる熱は暖房や給湯に有効利用しています。

また、ガスを発生させた後の液を肥料として農地還元することで、家畜農家と食品工場からの有機性廃棄物を再利用する地域産業貢献、循環型システムを実現することができました。



ハムバイオエコロジーセンター システムフロー



ガスエンジン式発電機



BIMA消化槽・ガスホルダー



液肥散布機



概要

- 事業実施主体：京都府南丹市（管理：（公財）八木町農業公社）
- 発電設備：バイオガス発電
（名称：南丹市ハムバイオエコロジーセンター）
発電出力：70kW×2基、80kW×1基、25kW×3基
発電電力量：150万kWh/年
- 燃料：地域の家畜排せつ物等（メタン発酵させて発電）
65.2t/日量最大（家畜排せつ物・食品廃棄物）
- 建設費：17億2千万円
- 運転開始時期：平成10年4月